

ワード・卒業式で歌われる歌

今回は、卒業式で歌われる曲を題材に、ワードで歌詞を見やすく表示します。

1. 「旅立ちの日に」

- (1) ページ設定: A4, 余白25mm
- (2) 文字入力: ベタ打ちで入力する
- (3) フォントの変更
「編集」 「すべて選択」とし
フォントサイズ: 16
文字間隔: 「広く」2pt
「タイトル部」 フォントサイズ'22
「作詞・作曲者」 フォントサイズ'14
「その他」 フォントサイズ'14
- (4) 歌詞部分の行間を調整して全体が1ページに入るようにする。
< 行間調整のしかた >
歌詞部分をドラッグで選択後、「書式」
「段落」 「インデントと行間隔」とし、
行間: 「固定値」、間隔: 「30pt」
- (5) ページ罫線では絵柄を選択する。

< 旅立ちの日に >
作詞: 小嶋 登 作曲: 坂本 浩美

白い光の中に 山なみは萌えて
遙かな空の果てまでも 君は飛び立つ
限りなく青い空に 心ふるわせ
自由を駆ける鳥よ 振り返ることもせず
勇気を翼に込めて 希望の風に乗
この広い大空に 夢を託して

(間奏)

懐かしい友の声 ふとよみがえる
意味もないいさかいに 泣いたあの時
心通った嬉しさに 抱き合った日よ
みんな過ぎたけれど 思い出強く抱いて
勇気を翼に込めて 希望の風に乗
この広い大空に 夢を託して

今、別れの時
飛び立とう 未来信じて

弾む若い力信じて
この広い この広い 大空に

(繰り返し)

2. 「仰げば尊し」

- (1) および(2): 上記(1)(2)に同じ
- (3) フォントの変更
「編集」 「すべて選択」とし
フォントサイズ: 14
文字間隔: 「広く」5pt
「タイトル名」 フォントサイズ'22
「歌詞部分」 フォントサイズ'18
- (4) 歌詞部分の行間を調整
行間: 「固定値」、間隔: 「40pt」
- (5) ルビの挿入
対象の文字をドラッグ選択後、「書式」
「拡張書式」 「ルビ」から設定。
- (6) ページ罫線では絵柄を選択する。

< 仰げば尊し >
原曲: Song for the close of school (米)

仰げば尊し 我が師の恩
教えの庭にも はや幾年^{ねん}
思えばいと疾し この年月^{としげき}
今こそ別れめ いざさらば

互いに饜^{あは}し 自^{みづか}らの恩
別るる後^{のち}にも やよ忘るな
身を立て名をあげ やよ励めよ
今こそ別れめ いざさらば

朝夕なれにし 學^{まな}びの窓
螢のともしび つむ白雪
忘るる間ぞなき ゆく年月^{としげき}
今こそ別れめ いざさらば

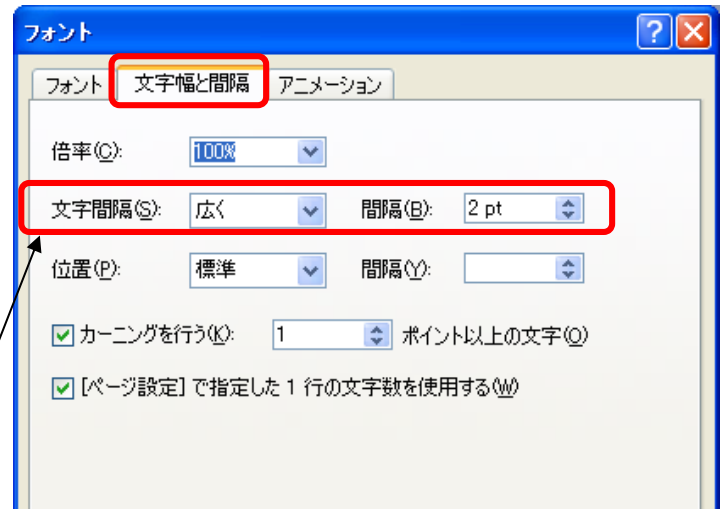
【補 足 説 明】

(イ) 「すべて選択」の仕方 (Office2007の場合)

「ホーム」 「編集」 / 「選択」 「すべて選択」 とクリックします。

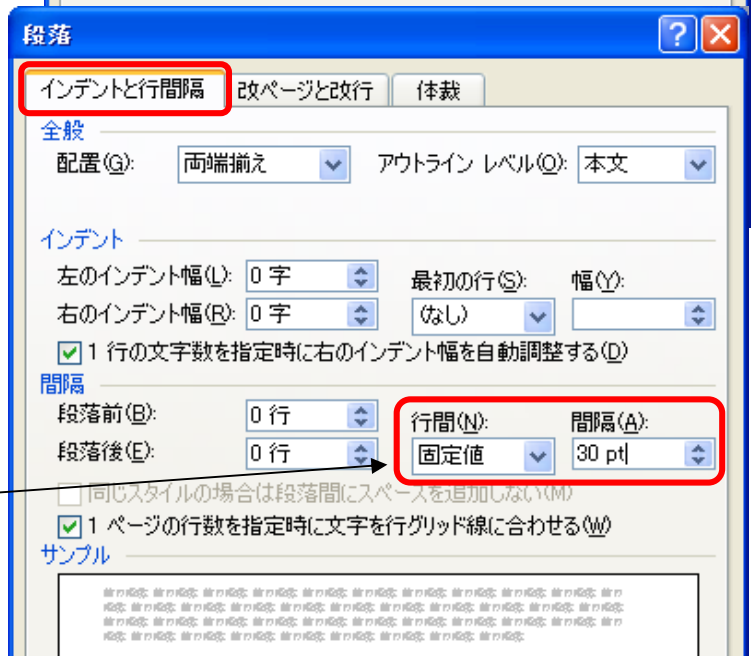
(ロ) 「文字間隔」の調整方法: 対象の文字をドラッグで選択した状態で、「右クリック」すると、メニューが現れるので「フォント」を左クリックします。

「フォント」の画面で、「文字幅と間隔」タブを左クリックし「文字間隔」 「広く」 「間隔」 例えば「2pt」や「5pt」に設定。



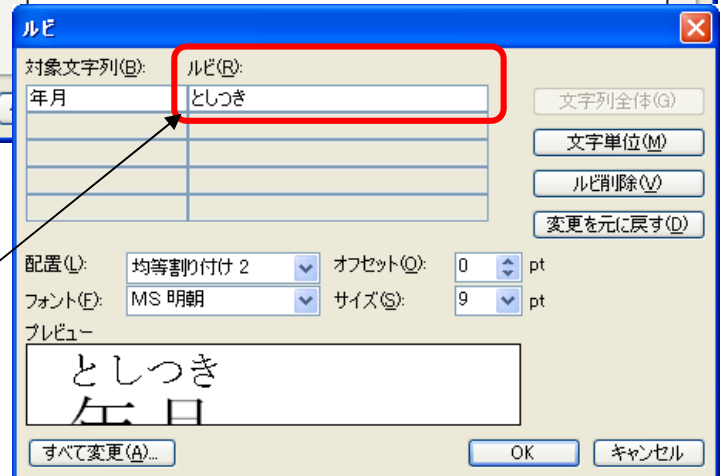
(ハ) 「行間隔」の調整方法: 対象の行をドラッグで選択した状態で、「右クリック」すると、メニューが現れるので「段落」を左クリックします。

「段落」の画面では「インデントと行間隔」タブを左クリックし「行間」 「固定値」 「間隔」 「30pt」や「40pt」に設定。



(ニ) 「ルビ」の設定 (Office2007の場合): 対象の文字をドラッグで選択しておき、「ホーム」 「フォント」 / 「ルビ」アイコン とクリックします。

「ルビ」の画面でルビの読みが違って表示される場合は、よみを修正します。



(ホ) 「ページ罫線」の設定:

Office2007の場合、「ページレイアウト」

「ページの背景」 / 「ページ罫線」とクリックし、「線種とページ罫線と網かけの設定」の画面 「ページ罫線」タブをクリックすると、ページ罫線の「絵柄」の設定ができます。